



# HOKKAIDO UNIVERSITY

|                  |                                                                                   |
|------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| Title            | 北海道大学経済学部教官 研究業績一覧(昭和59年度)                                                        |
| Citation         | 経済学研究, 35(1)                                                                      |
| Issue Date       | 1985-06                                                                           |
| Doc URL          | <a href="https://hdl.handle.net/2115/31688">https://hdl.handle.net/2115/31688</a> |
| Type             | other                                                                             |
| File Information | 35(1)_Pi-iii.pdf                                                                  |



# 北海道大学経済学部教官 研究業績一覧

(昭和59年度)

## 《著 書》

長岡 新吉 『日本資本主義論争の群像』(ミネル  
ヴァ書房 1984年10月)

## 《論文・研究ノート等》

荒又 重雄 「巻頭言」「理論と方法」(『唯物論』  
(札幌唯物論研究会) 1984年4月)  
「書評」「下山房雄『現代日本労働問題  
分析』」(社会政策学会年報第28集  
『行財政改革と労働問題』 御茶の水  
書房 1984年5月 所収)  
「生活の協同と生活協同組合」(『労  
働者福祉研究』第25号 1984年7月)  
[Book Review] “KOGAN, A. M.,  
*Plan Schesti Knig K. Marksa i  
Kapitala,*” *Hokudai Economic  
Papers*, Vol. XIII, July 1984.  
「労働力概念の擁護」(『経済学研究』  
(北海道大学) 第34巻第2号 1984年  
9月)  
「書評」「布施晶子『新しい家族の創  
造』」(『札幌学院評論』第2号 1984  
年10月)  
「書評」「吉野正治『あたらしいゆた  
かさ——現代生活様式の転換』」(『生  
協運営資料』(日本生活協同組合連  
合会) No. 99 1984年10月)  
「失業問題に関する最近の論議によ  
せて」(『賃金と社会保障』第903号  
1984年12月)  
「婦人労働における保護と平等」(同  
上 第908号 1985年2月)  
「福祉国家論と社会政策学——福祉  
国家に関する戸原四郎氏と岡田与好  
氏の所説によせて——」(『経済学研  
究』(北海道大学) 第34巻第4号  
1985年3月)  
浜田 康行 「金融論の研究」(1), (2) (『経済学研

究』(北海道大学) 第34巻第1号,  
第3号 1984年6月, 12月)

“‘Venture Business’ Boom in  
Japan,” *Hokudai Economic Pape-  
rs*, Vol. XIII, July 1984.

今泉 佳久 「公的年金制度の成立をめぐって」  
(『経済学研究』(北海道大学) 第34  
巻第2号 1984年9月)

石田 高生 「イギリス植民地銀行の変遷につ  
いて——19世紀中葉を中心にして  
——」(『経済学研究』(北海道大学)  
第34巻第3号 1984年12月)

石坂 昭雄 “Some Preconditions for Indus-  
trialization in Western Europe  
Reconsidered: the Formation  
of National Economy, Revolut-  
ions and Entrepreneurship,” *Ho-  
kudai Economic Papers*, Vol.  
XIII, July 1984.

「ヴェストプロイセンにおけるネー  
デルラント系メノー派コロニーの  
形成とその経済活動 (1525-1772)」  
(1) (『経済学研究』(北海道大学) 第  
34巻第4号 1985年3月)

唐渡 興宣 「書評」「宮下征次『日本帝国主義の  
現局面』(下), (御茶の水書房 1983  
年)」(『札幌学院評論』創刊号 1984  
年4月)

「歴史主義と政治経済学」(1), (2) (『経  
済学研究』(北海道大学) 第34巻第  
1号, 第2号 1984年6月, 9月)  
“Power and Its Structure,” *Ho-  
kudai Economic Papers*, Vol.  
XIII, July 1984.

小林 好宏 「サービス化, 情報化経済と集権  
分権」(『経済学研究』(北海道大学)  
第34巻第1号 1984年6月)

- 「企業理論の展開方向——展望——」  
 (同上 第34巻第2号 1984年9月)  
 「情報化、国際化と地域」(『かいはいつ』(北海道開発問題研究調査会) 1984年10月)  
 「北海道21世紀を考える」(北海道開発問題研究調査会編『北海道21世紀への道』 1984年11月 所収)  
 「地域政策のあり方」(『北海道自治』第35巻第1号 1985年1月)  
 「地域間関係の密接性と人口移動」(『経済学研究』(北海道大学) 第34巻第4号 1985年3月)
- 小島 廣光 「企業組織の進化論からみた国鉄再生への課題」(野中郁次郎と共同執筆)(『運輸と経済』第44巻第9号 1984年9月)  
 「青函トンネル建設の組織論的研究」(2)(『経済学研究』(北海道大学) 第34巻第3号 1984年12月)
- 黒田 重雄 「消費者って何!」(1)―(4)(『月刊さっぽろ経済』(札幌商工会議所) 1984年2月～5月)
- 眞野 脩 「バーナードにおける技術と理念」(『経営教育』第57号 1984年3月)  
 「労働組合の参加形態と企業成長」(『日本労務学会年報』 1984年4月)
- 松井 安信 「高山 満氏のヒルファディング恐慌論——松井編著『金融資本論研究』補論——」(『信用理論研究』第1号 1984年7月)
- 森 杲 「株式会社の内部組織・企業形態および独占形態の相互関連について」(『経済学研究』(北海道大学) 第34巻第1号 1984年6月)  
 「メルマン教授の『軍拡の不経済』論」(小川晃一・石垣博美編『戦争とアメリカ社会』木鐸社 1985年1月 所収)
- 長岡 新吉 「「講座派」理論の転回とアジア認識——平野義太郎の場合——」(『経済学研究』(北海道大学) 第34巻第4号 1985年3月)  
 「書評」(大石嘉一郎編『日本帝国主義史 1. 第一次大戦期』(東京大学出版会 1985)) (『週間読書人』 1985年3月25日号)
- 永田 信 「〈緑〉の論理と経済論理」(『林業経済』No. 432 1984年10月)  
 “Tax-subsidy Scheme to Handle Externality in An Open Economy,” *The Current State of Japanese Forestry* III, July 1984.
- 小野 浩 “Dynamic Adjustment Mechanism to A Rise in Price of Raw Materials: Flexible Exchange Rate Case,” *Hokudai Economic Papers*, Vol. XIII, July 1984.
- 佐藤 茂行 「オーギュスト・ワルラスの所有論手稿」(『経済学研究』(北海道大学) 第34巻第2号 1984年9月)
- 清野 康二 「「資本主義的蓄積の一般的法則」の成立と領有法則転回論」(『経済学研究』(北海道大学) 第34巻第1号 1984年6月)
- 関口 恭毅 “Optimal Schedules under Series-Parallel Precedence Constraints,” *Hokudai Economic Papers*, Vol. XIII, July 1984.
- 「Sidney の分割アルゴリズムの統一理論」(『経済学研究』(北海道大学) 第34巻第2号 1984年9月)
- 白井 孝昌 「ケインズ『一般理論』私注 賃金基金説の系譜について」(1), (2), (3) (『経済学研究』(北海道大学) 第34巻第1号, 第2号, 第3号 1984年6月, 9月, 12月)  
 「経済的, 社会的, および法的交換の諸概念について(1)——社会的交換と経済分析の手法——」(同上 第34巻第4号 1985年3月)
- 平子 友長 「近代市民社会理論の問題構成——市民社会と国家の関係を中心にして」(『近代市民社会の哲学と現代』(共著) 青木書店 1984年4月 所収)  
 「疎外論と物象化論」(『経済理論学会年報』第21集 青木書店 1984年9月 所収)

- 「ヘーゲル『精神現象学』における疎外論と物象化論」(1) (『経済学研究』(北海道大学)第34巻第2号 1984年9月)
- 所 哲也 「発展途上国と経済体制」(『商学討究』第35巻第2・3合併号 1985年1月)
- 富森 虔児 「日本失業率格差の実相」(『経済評論』第33巻第11号 1984年11月)  
「『日本的経営』とその経済基盤」(『経済学研究』(北海道大学)第34巻第4号 1985年3月)
- 内田 和男 「信用乗数と所得乗数」(『経済学研究』(北海道大学)第34巻第3号 1984年12月)  
「マクロ不均衡論序説」(同上 第34巻第4号 1985年3月)
- 米山喜久治 「鉄鋼合併企業における技術移転」(9) (『経済学研究』(北海道大学)第34巻第4号 1985年3月)
- 吉田 文和 「W.シュルツ『生産の運動』と『資本論』——マルクス『機械論』形成史研究(8)——」(『経済学研究』(北海道大学)第34巻第1号 1984年6月)  
「ふたたび『機械論草稿』について」(『経済』1984年5月号)  
“J. H. M. Poppe's, *History of Technology and Karl Marx*,” *Hokudai Economic Papers*, Vol. XIII July 1984.  
„Wurden Marx' Theorien über den Mehrwert《nach der Unterbrechung seiner Arbeit an dem》Maschinerie-Manuskript《ge-

schrieben?“, *Beiträge zur Marx-Engels-Forschung*, Heft 16, Institut für Marxismus-Leninismus beim Zentralkomitee der SED Marx-Engels-Abteilung, Berlin, 1984.

# ＜翻 訳＞

亀田 正人

『カール・マルクス『経済学草稿・著作 1858—1861年』』(マルクス『資本論草稿集』第3巻)(杉本俊朗, 平子友長, 浅見克彦, 土屋保男と共訳)(大月書店 1984年4月) Karl Marx: *Ökonomische Manuskripte und Schriften 1858—1861*. Aus der MEGA 2. Abteilung, 2. Band, Berlin, 1980.

平子 友長

同上。(共訳者: 杉本俊朗, 亀田正人, 浅見克彦, 土屋保男)

牛山 敬二

「日本の農業革命」, 「農業法人経営は日本向きか」, 「アチソソーフィーリー覚書」, 「連合軍最高指令官指令411号; 農業改革について」(ヴォルフ・ラデジンスキー著 齊藤 仁・磯辺俊彦・高橋 満監訳『農業改革——貧困への挑戦』日本経済評論社 1984年7月 所収 第Ⅲ編第3章・第5章, 付録A・Bを担当) Louis J. Walinsky, Editor; *The Selected Papers of Wolf Ladejinsky, Agrarian Reform as Unfinished Business*, Published for the World Bank, Oxford University Press, 1977.

(掲載は項目毎著者アルファベット順)